

「こうかん・くうこう」だより Oshima・Toshima 大島・利島

発行：平成25年9月

大島空港花壇が賑わっています

大島空港のターミナルでは、平成21年度より緑化工事を行っています。昨年度は駐車場を挟んで玄関の正面にある花壇の整備を行いました。この花壇の管理は、北の山婦人会の方々が中心となって行っています。季節ごとに様々な種類の花が植えられ賑わいをみせています。

また、昨年度の整備の際には、雑草繁茂防止策として花壇まわりにイワダレソウを植栽しました。暖かくなるとともにイワダレソウが根付き、春から小さく可憐な花を咲かせています。

空港に立ち寄った際には是非足を運んで、花壇の賑わいを楽しんでください。



利島でケーソンが無事据付きました

利島港で今年度に予定されていたケーソンを据付け直しました。

こちらのケーソンは平成23年9月の台風15号による高波により被災して、ずれたもので、平成24年度から復旧工事を行っているものです。ケーソンとは箱型コンクリートを指し、このコンクリートを海に沈めることで岸壁や防波堤といった港湾施設を建造、整備しています。工事の完成まで皆様にはご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、ご協力をお願いします。



「やいづ少年の船」が実施されました

静岡県と焼津市が主催する「やいづ少年の船」の事業実施にともない、静岡県立焼津水産高校の実習船「やいづ」(559トン)が7月29・30日の2日間、岡田港に入港しました。

この事業は、焼津市などの中学生を対象に「海洋事業の担い手として水産教育への理解を深める 乗船体験を通じて友情と協調性を養い、海洋事業の振興を志す青少年育成の一助とする」ことを目的として毎年実施されており、今年で35回目になります。

参加した36名は、船内研修で海洋観測やロープワークを学ぶとともに、船の操舵体験などを行いました。また、島内では東京都栽培漁業センターや高田製油所などの施設見学、三原山登山を行い、夏休みの良い思い出になったのではないのでしょうか？

来年もお待ちしていますので、ぜひお越しください。



「計器飛行方式」が始まりました

今年6月18日より調布飛行場で、定期便の計器飛行方式による運航が始まりました。

調布飛行場と大島、新島、神津島の間には、新中央航空株式会社が定期便を運航しており、多くの方々にご利用いただいています。

これまで調布飛行場では、パイロットが周囲の状況を目で見て飛行する有視界飛行方式であったため、天候に影響されやすく、視界が悪い気象状態では欠航を余儀なくされていました。

計器飛行方式が導入されたことによって、以前であれば視界が悪く欠航せざるを得ない気象状態であっても、パイロットが航空交通管制の指示を受けて飛行できるようになったため、今後、ダイヤどおり運航できる割合(就航率)が高まるものと期待されています。

大島一調布便においても、導入によって8月までの間に約30便が欠航せずにすみました。

計器飛行方式も万能ではなく、どのような気象状態であっても全て運航できるというわけではありませんが、就航率は確実に向上していくことでしょう。



発行：大島港湾空港管理事務所 TEL：04992-2-1400
大島支庁港湾課工事係 TEL：04992-2-4461